

個人12

受 付	令和 6 年 8 月 27 日 午前・ <u>午後</u> / 時 47 分
--------	---

一般質問（代表・個人） 通告書

令和 6 年 8 月 27 日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 日比野和雄

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 9 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとに一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質 問 事 項

「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」に向けた取組について

No. 1

先日、尾張旭市第六次総合計画が公表されました。今後10年間の市の最上位計画となります。表紙には「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」とあり、しっかりと、本市の目指すべき姿が示されていると考えます。

幸せに生きていきたい、向こう 3 軒両隣、笑顔で暮らしたい。これらは誰もが思う願いです。そこで、以下の 3 点について答弁を求めます。

(1) 「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」の設定の経緯について

第六次総合計画の「めざすまちの未来像」として、この言葉を設定した経緯について伺う。

(2) 「幸せつむぐ」に込めた意味について

行政は、縦割りだけでなく、横断的な取組が大切と考えるが、めざすまちの未来像の中の「幸せつむぐ」という言葉に込めた意味について伺う。

(3) 「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」を実現するための横断的な取組について

第六次総合計画を基に、どのように横断的な取組を行っていくかについて伺う。

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項	スカイワードあさひ天体観測室を活用したシティプロモーションについて
No. 2	
要 旨	<p>8月号の広報おわりあさひに特集記事が掲載されていた「天体観測室」は、本市の魅力ある施設の一つであり、市内外から多くの方が訪れています。</p> <p>天体ドームのオーバーホールなどの保守点検が実施されていますが、設置から約30年が経過し、設置の老朽化が進んでいます。</p> <p>そこで、現在の「天体観測室」の現状や課題、更なる魅力アップにつながるような方策について、以下の3点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 実施状況について</p> <p>天体観測室では、誰を対象として、どのような事業を実施しているのかについて伺う。</p> <p>(2) 利用状況について</p> <p>毎年、市内外から多くの方が訪れているとのことだが、利用状況について伺う。</p> <p>(3) シティプロモーションにつなげるための考え方について</p> <p>県内有数の天体望遠鏡を活用したシティプロモーションの考え方について伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

誰もが移動しやすい環境づくりを目指した取組について伺う。

3